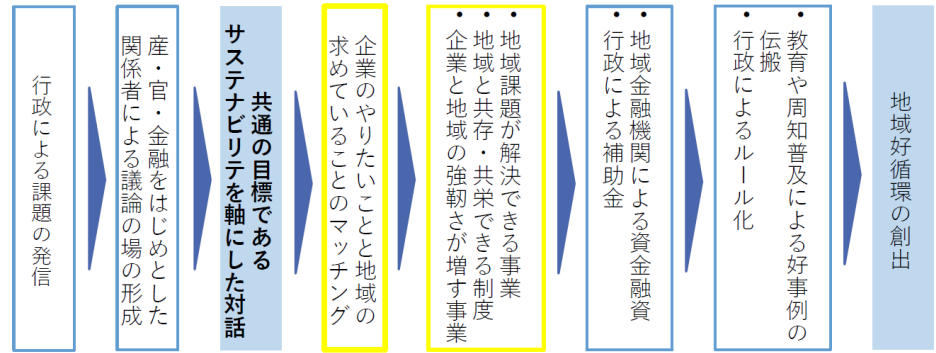


企業各社が考えるSDGsブランディング（自社およびサプライチェーンにおけるESG諸課題への対応、社内外のコミュニケーション）について発表し、熊本県におけるSDGsの推進に向けて意見交換を行いました。

◆第3回ワークショップ（2022年12月19日）

●講演：サステナビリティ品質の実現と地域金融連携

SDGsを軸に地方公共団体・地域金融機関と連携することにより地域の好循環を推進できるのではないかと



「広がり」と「連携」を通して、複数の事業の長期的な収益性を考えるのはどうか
熊本でSDGsに取り組む企業を増やすためにはまさにこの「連携」が重要なのではないかと

出所：田瀬代表の資料を元に作成

●事前課題発表と参加者からのコメント等

- お金があれば事業をすることができるが、単発的な取組で終わることもある。今回の研究会では、若手社員が積極的に意見を出して考えてくれた。会社内から出てきた意見をどのようにすれば持続的な取組として継続していくことができるのか、会社全体で考えながらチャレンジしていきたい。
- 脱炭素に配慮したサプライチェーンを意識するだけでなく、県内の事業者を中心に取引を行うことで、オール熊本県産の製品づくりを行うなど、地産地消につなげることで、地域経済にも貢献していきたい。
- 熊本県では「熊本県SDGs登録制度」が進んでいるが、今後さらに本制度が認知されることで、企業のSDGsの推進に向けた取組も広がると思う。企業・金融機関・行政機関が協力し、熊本県のSDGsの推進につなげていきたい。

●参加者全体での意見交換

「熊本県における企業・地域金融・行政の連携」をテーマに、参加企業や関係機関、金融機関（肥後銀行、熊本銀行）で、各立場において課題に感じることや連携に必要な事項について意見を出し、熊本県全体のSDGsの推進に向けて意見交換を行いました。



（場所：熊本城ホール 会議室）